

(別添)

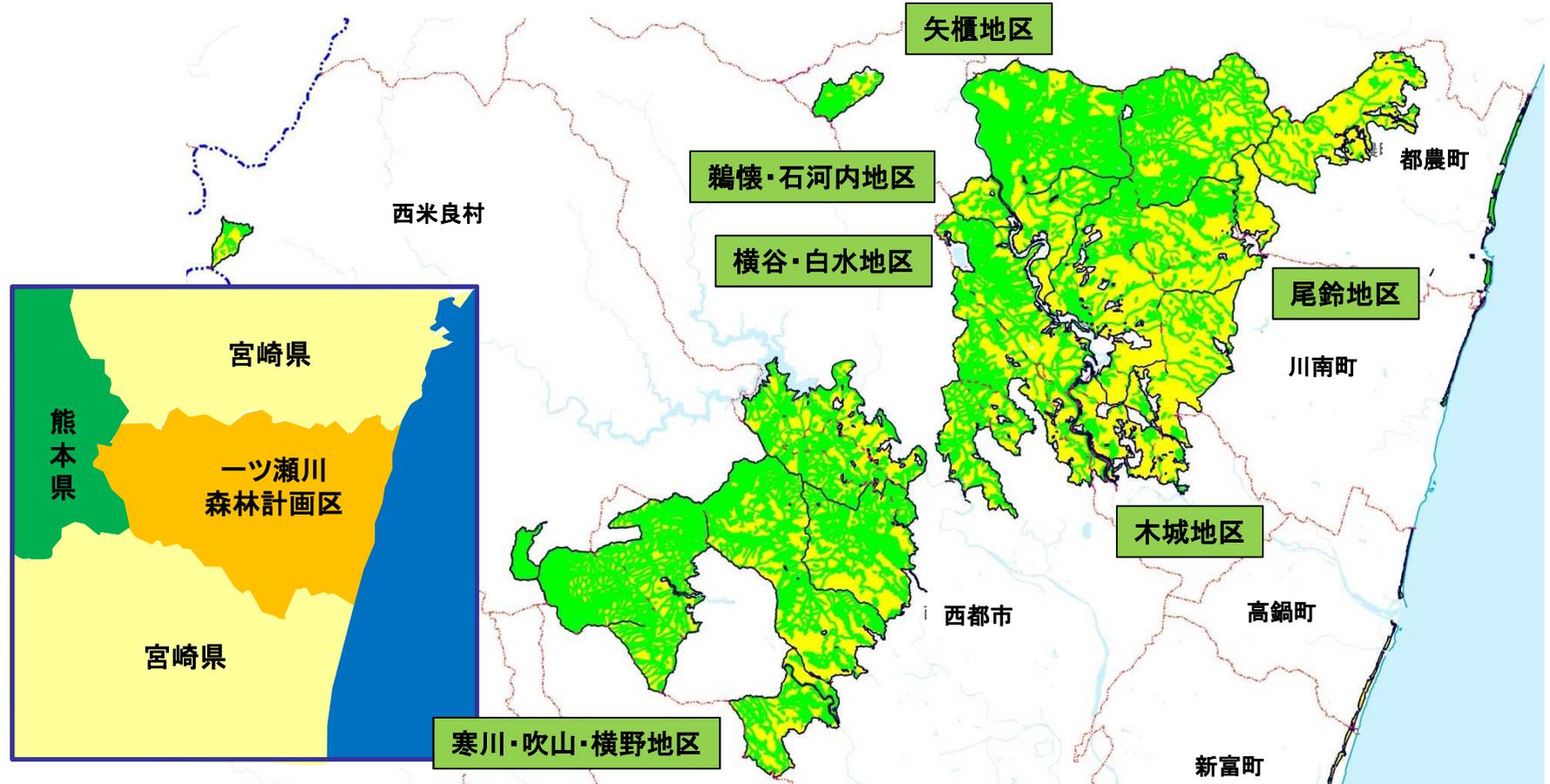
次期森林計画についての森林管理署の検討方向

－ 目 次 －

1. 現行計画の概要
 - (1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項
 - (2) 国有林野の維持及び保存に関する事項
 - (3) 林産物の供給に関する事項
 - (4) 国有林野の活用に関する事項
 - (5) 国民の参加による森林の整備に関する事項
2. 次期計画の検討方向
 - (1) 管理経営上の課題

西都児湯森林管理署

1. 現行計画の概要(平成29年4月1日～令和3年3月31日)



● 一ツ瀬川森林計画の対象は、県中部に位置し、寒川・吹山・横野地区、横谷・白水地区、矢櫃地区、鶺鴒・石河内地区、木城地区及び、尾鈴地区から形成される国有林野26,636haです。

● 計画区内の国有林野は、九州森林管理局管内国有林野総面積の5%にあたり、天然林が42%、人工林が55%、その他が3%を占めています。

● 水源かん養保安林が全体の97%に達し、国民生活に欠かせない良質で豊かな水の供給に係わる機能(土砂流出・干害)など重要な役割を担っているほか、登山などの森林レクリエーションや保健休養の場として多くの人に利用されています。

● 日向灘に面する海岸は、カシ類、シイ類等の天然広葉樹林、クロマツを主体とする海岸林からなっています。



(1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

① 機能類型に応じた管理経営

国有林野の管理経営に関する基本計画に即して、開かれた「国民の森林」の実現に向けた取組を推進するため、5つの機能類型に区分し、個々の国有林野を重点的に発揮すべき機能に応じて、管理経営を行っています。

機能類型区分(面積)	機能類型区分の考え方	目指すべき森林の姿
山地災害防止タイプ (6, 944ha)	山地災害の防止及び土壌保全機能の発揮を重視	根や表土の保全、下層植生の発達した森林
自然維持タイプ (794ha)	原生的な森林生態系や希少な生物の成育・生息する森林など属地的な生物多様性保全機能の発揮を重視	良好な自然環境を保持する森林、希少な生物の育成・成育に適した森林
森林空間利用タイプ (221ha)	保健、レクリエーション、文化機能の発揮を重視	保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林
快適環境形成タイプ (0ha)	快適な環境の形成の機能の発揮を重視	騒音の低減や大気の浄化など、人の居住環境を良好な状態に保全する役割を持つ森林
水源涵養タイプ (18, 677ha)	水源涵養の機能の発揮を重視第一とすべき森林	人工林の間伐や伐期の長期化、広葉樹の導入による育成複層林への誘導を図る森林であり、森林資源の有効利用にも配慮

②森林の流域管理システムの下での森林・林業再生に向けた貢献

県・市町村等との密接な連携を図るとともに、組織力・技術・資源を活用し、民有林経営の支援等に積極的に取り組めます。

林業技術向上のための現地研修会を実施しています。



国有林内において、林業事業者、児湯農林振興局及び市町村関係者（一ツ瀬川流域森林整備連絡会議）が参加し、「低コスト路網モデル林での路網の検証及び一貫作業システム」の現地検討会等を行い、民有林への技術普及に取り組んでいます。

民有林と協調した効率的な森林整備を推進しています。



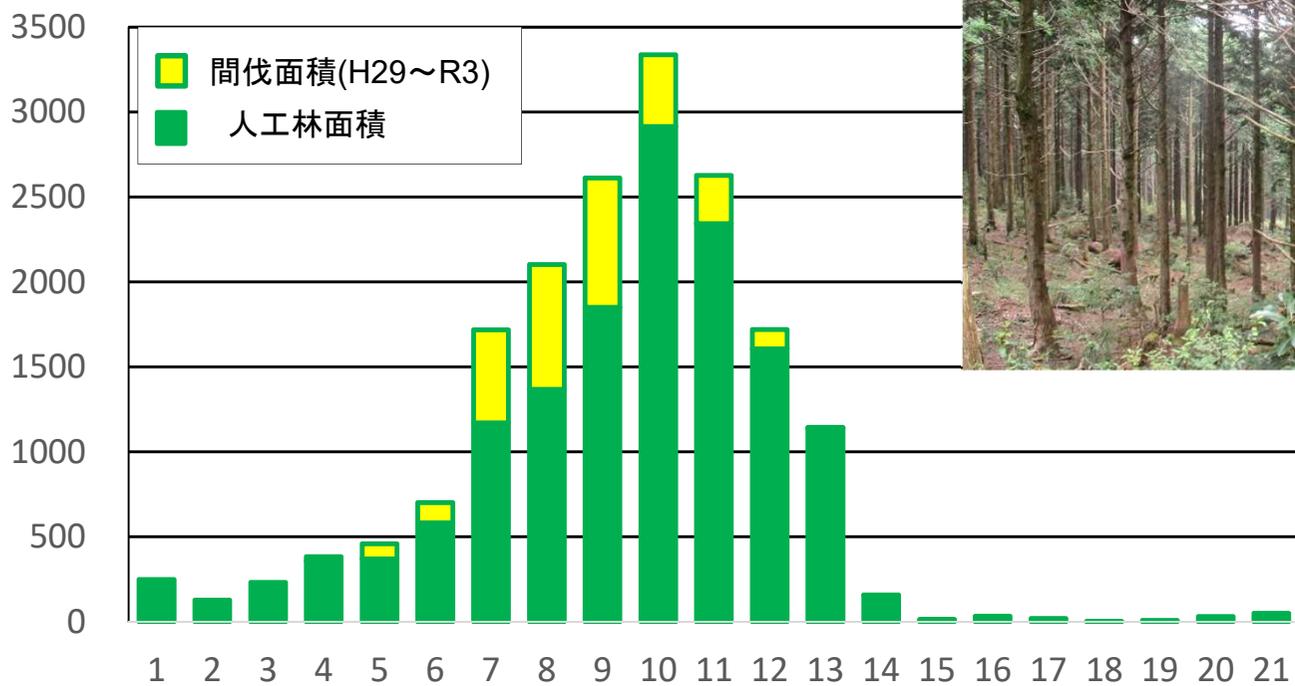
民有林と国有林が隣接する、檜・白水地域及び川南尾鈴地域の「森林共同施業団地」を設定し、路網整備や森林整備を行い、作業の低コスト化を図り、安定供給体制の強化に取り組んでいます。

③ 地球温暖化防止に向けた積極的な間伐等の推進

本計画区の人工林の面積は約14,623haで、16年生から80年生の人工林の面積は約13,901ha（人工林面積の95%）です。

また、現行計画（H29年度～R3年度）では間伐を約3,109ha計画しており、森林吸収源対策のためにも間伐を推進しています。

面積 (ha)



列状間伐を導入した人工林

注：1年齢級は1～5年生を表します。

年齢級

④ 多様で健全な森林の整備・保全

間伐をはじめとした森林整備に積極的かつ着実に取り組むとともに、複層林化、長伐期化、針広混交林化などの施業を通じて、多様で健全な森林の整備・保全を推進します。



(2) 国有林野の維持及び保存に関する事項

① 生物多様性の保全(保護林)

本計画区には貴重な天然林等が多数存在しており、これらについては保護林として設定し、適切に保護・保全を図っています。



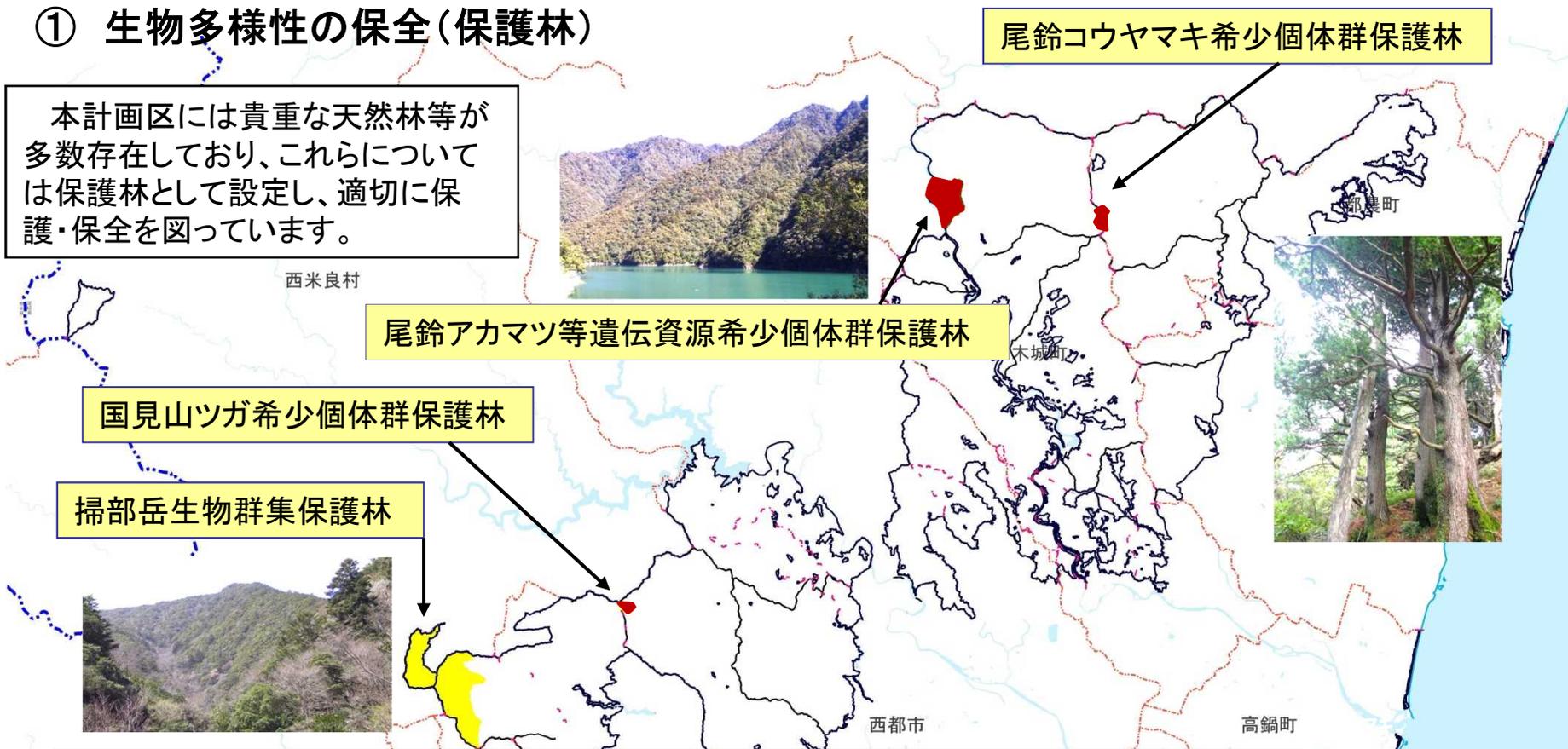
西米良村

尾鈴コウヤマキ希少個体群保護林

尾鈴アカマツ等遺伝資源希少個体群保護林

国見山ツガ希少個体群保護林

掃部岳生物群集保護林



種類	名称	特徴等	面積 ha
生物群集保護林	掃部岳	ブナが生育する周辺のシラキーブナ群集等を保護し、学術研究等に役立っています。	444
希少個体群保護林	尾鈴アカマツ等遺伝資源	アカマツ、コウヤマキ、イチイガシ、タブノキ等の遺伝資源を保存します。	110
	尾鈴コウヤマキ	コウヤマキ群生地の分布の南限で希少化しておりその特異性を保護します。	15
	国見山ツガ	コウヤマキ、ズイナ、ウワバミソウ等を保護し、学術研究等に役立っています。	8

 希少個体群保護林
 生物群集保護林

② 国民生活の安全・安心の確保に向けた効率的・効果的な治山事業の展開

安全・安心の確保に向けた効率的・効果的な治山対策に取り組んでいます。



宮崎県児湯郡木城町の石河内地区で、発生した山地災害について、宮崎県と連携し、山腹工(簡易法枠工)を施工し早期復旧に努めています。



海岸林における治山事業の効果や役割についてのPR看板を設置し、地域住民へ治山事業・保安林の機能に関する理解を深めています。

(3) 林産物の供給に関する事項

① 高効率・低コストな作業システムの定着

伐採、造林等の事業の実施の効率化を図りつつ、健全な森林を整備するとともに、木材の需要動向や木材産業の状況等の的確な把握に努め、国有林材の安定的な供給を推進しています。



集成材工場や合板工場、製材工場等の原材料となる木材を安定的に供給する「システム販売」を推進しています。



林業生産コストの削減を図るため、簡易で崩れにくい路網の整備を推進しています。

② 低コスト造林の推進と林地残材等の有効利用

コンテナ苗の導入による低コスト造林の推進及び、林地残材等D材の有効利用等に取り組んでいます。



コンテナ苗は、季節を問わず植付が可能であり、伐採から植栽の一貫作業により、枝条整理と苗木運搬を行い、伐採後すぐに植付することで造林コスト削減と労力の低減を図ることができます。



木質バイオマス発電所

再生可能エネルギー原料としての利用等新たなニーズに応えるため、これまで利用されてこなかった林地残材等の利用を進めています。

(4) 国有林野の活用に関する事項

① レクリエーションの森の保健・文化的利用の推進

優れた自然景観を有し、森林浴や自然観察、野外スポーツ等に適した森林をレクリエーションの森として設定し、地域の方々に提供しています。

レクリエーションの森の位置



種類	名称	概要	面積(ha)
風致探勝林	尾鈴	国の名勝尾鈴山瀑布群の一带であり、日向市街から近く交通の便もよいことから、瀑布群と渓谷美の探勝キャンプ場としての好適地となっています。	122

 風致探勝林

(5) 国民の参加による森林の整備に関する事項

①国民参加の森林づくりと森林環境教育の推進

国有林をフィールドとした国民参加の森林づくりを推進しています。

地元ボランティアの方々と協力して海岸林の保全を図っています。



地域ボランティアにフィールドを提供し、協働して、海岸林のマツクイムシ被害地での植樹を行って松林の再生に向けて取り組んでいます。

国民や地域住民の自主的な参加による森林の整備や森林環境教育を推進します。

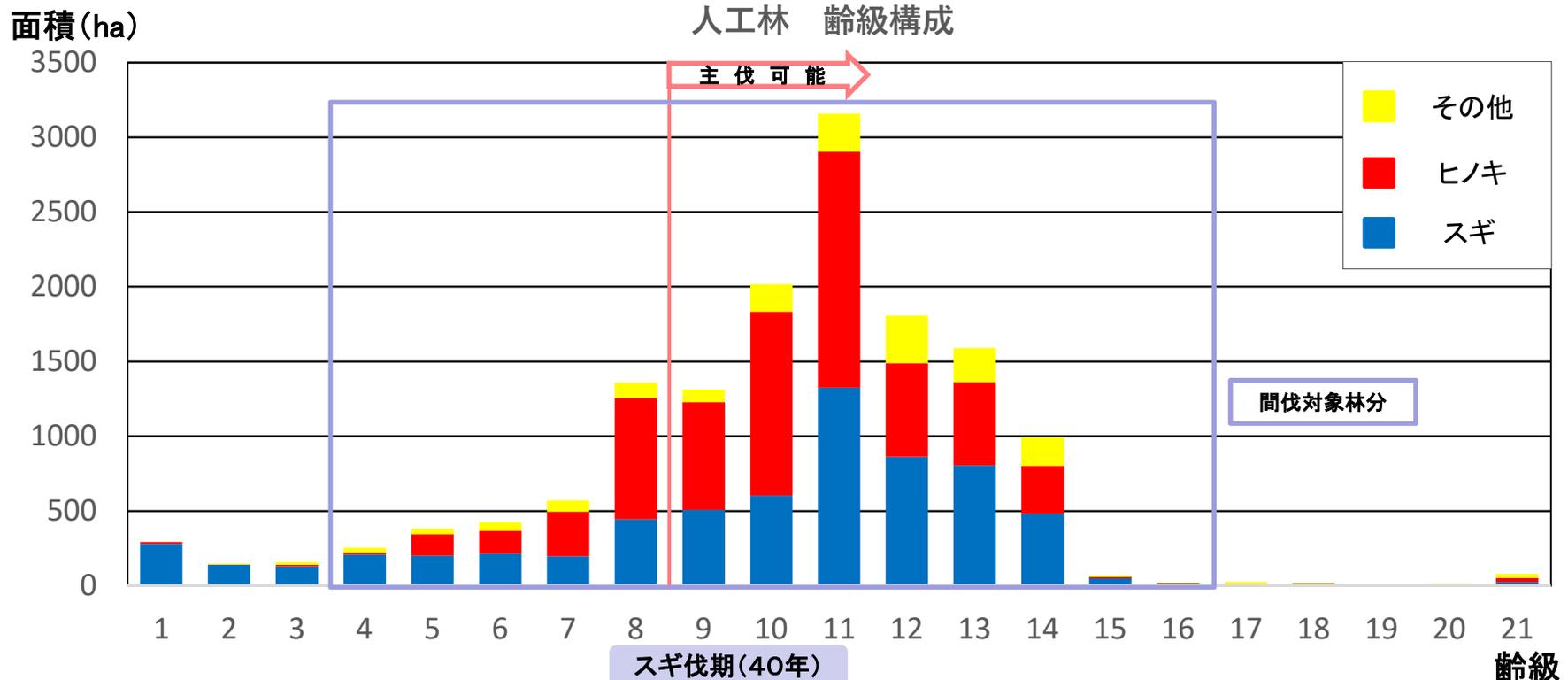


「ふれあいの森」において、森林整備・自然観察会等の推進に努めるとともに、「遊々の森」により、森林環境教育の推進を目的として林業体験活動の場を提供しています。

2 次期計画の検討方向

(1) 管理経営上の課題

- ・ 本計画区の国有林野が有する水源涵養機能や保健文化機能等の公益的機能の発揮を高めていく必要があります。
- ・ 次期計画においても間伐対象となる16年生から80年生の人工林の割合は95%と現行計画と同程度であり、健全な森林づくりのほか森林吸収源対策のうえからも引き続き間伐を推進する必要があります。
- ・ 将来的に均衡がとれた齢級構成に移行させることに配慮しつつ、主伐とその後の再造林を計画的に推進し、森林資源の循環利用を行うことにより、森林の有する多面的機能の持続的な発揮を図るとともに、森林吸収源対策にも貢献する必要があります。



- ・ 国産材の安定供給を実現するため、生産システムのコスト削減と生産性向上を進める必要があります。



路網の現地踏査



路網の検討会



コンテナ苗



森林作業道作設



伐倒



植付



枝条等搬出



集材



搬出

一ツ瀬川流域森林整備連絡会議等で路網の検討やコンテナ苗の研修会を実施し、高効率・低コスト作業システムや低コスト造林の導入・定着を進めます。

コンテナ苗を使用した伐採から植栽の一貫作業システムを行うことで、造林コストの削減と植付時期を選ばないので労務の分散化ができます。

- ・ 本計画区には各種保護林やレクリエーションの森を設定しており、これらの国有林野を適切に管理していく必要があります。



矢研の滝



次郎四郎滝



はがくれ滝



白滝



青葉の滝



尾鈴キャンプ場



千畳滝



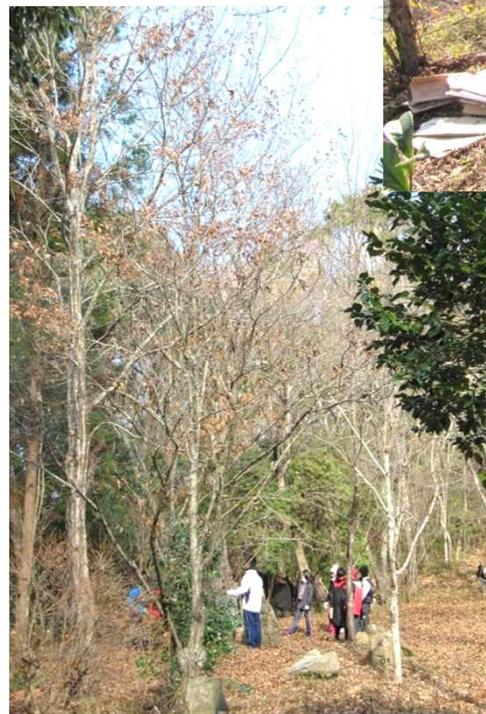
すずかけの滝

自然景観に優れたレクリエーションの森については、魅力あるフィールドとして森林を整備・管理し、その活用を推進します。

- ・ 国民参加による森林づくりに関する問い合わせや相談への対応、国民参加の支援を行う拠点として、これからの要請に適切に対応していく必要があります。



ふれあいの森木城町駄留地区協定



ふれあいの森における、国民の自主的な参加による森林整備活動等を推進するとともに、国有林を自然観察や体験学習の場として活用する「遊々の森」において森林環境教育を積極的に推進します。

- ・ 地域と連携したシカ被害対策を推進します。



川南町との新たなシカ被害対策協定締結



くくりわな勉強会

地域と連携した、シカ被害対策を推進するため新たな協定の締結や、くくりわな勉強会等の取り組みを推進します。

- ・ 森林病虫害等に強い多様な森林の造成を立地条件に応じ推進していく必要があります。



抵抗性マツ植栽



松くい虫予防地上散布



伐倒駆除

抵抗性マツの植栽及び松くい虫被害防除の計画的な実施や広葉樹への樹種転換などにより多様で健全な海岸林の造成を進めます。

・ 国民が安全・安心に暮らせる環境づくりに向けて、治山対策に取り組む必要があります。



台風により被災した、山腹崩壊地の早期復旧を図るため、山腹工等により、法面の安定と早期緑化に取り組みます。

上流部の山腹崩壊により発生した不安定土石流出により、下流域の家屋、田畑、道路等に被害を及ぼさないよう、現地の状況に応じた溪間工を施工します。



工事着手前の状況

木製校倉式床固工
完成状況



消波工による海岸林の浸食防止効果により海岸林の前線部を安定させ、道路・鉄道・田畑等の保全を図ることに取り組みます。



完成

(2) 計画内容

- ・ 公益的機能の維持増進を旨とする管理経営を行うとの方針の下、多様で健全な森林の整備・保全を行うほか、森林吸収源対策として引き続き間伐を推進するとともに、将来的に均衡がとれた年齢構成に移行させることに配慮しつつ、主伐とその後の再造林を計画的に推進する方向です。
- ・ 海岸保安林の保全機能を維持することとし、松くい虫などにより保全機能の低下した松林においては地元の関心も高く市民の憩いの場として親しまれているため、重点的に被害防止や広葉樹へと徐々に樹種転換など多様な森林の造成を推進する方向です。
- ・ 貴重な植物種の保護を目的とする保護林及び自然の観察や森林浴などの利用を目的とするレクリエーションの森については、現状を維持する方向です。
- ・ 地域の特性に応じた多様な森林生態系を保全していくため、針広混交林等からなる多様な林相の森林を整備及び保全していくとともに、貴重な野生動植物が生息・生育する森林について適切に保護・保全するほか、施業を行う場合でも適切な配慮をする方向です。
- ・ 社会貢献活動として森林づくりに参加・協力したいとする企業等の要請に応えるため、「分収林」制度を活用して、森林整備を推進する方向です。
- ・ 生産システムのコスト縮減と生産性の向上を図るため、現地の状況に応じて、簡易で壊れにくい路網の整備を引き続き推進する方向です。
- ・ これまで利用されてこなかった林地残材等の有効利用を図るため、これらを含む国産材のシステム販売に努める方向です。
- ・ 民有林と連携して効果的な治山事業の実施に取り組む方向です。
- ・ 生物多様性の保全に係る取り組みとして、森林生態系に影響を及ぼすシカ被害対策のため、関係市町村等と連携したシカ被害対策を推進する方向です。